

平成29年度

事業報告書

自 平成29年4月 1日

至 平成30年3月31日

I. 青少年活動

日本の将来を担い未来を築く青少年が、健康な身体を養い豊かな感性と高い徳性を磨き、有為な青年に成長することを目的に、“愛と汗の精神”に基づいた自然体験・社会奉仕体験を中心とした青少年健全育成活動の充実を図った。愛と汗の実践活動として、フィリピン・ゴミ山などの貧困の中で暮らす子供たちへの支援活動や大震災などの被災者に対する支援活動を継続して展開した。

1. 子ども自然体験活動

“愛と汗の精神”に基づいた子ども自然体験キャンプを全国的に開催し、大自然の中で障害児を含む異年齢の仲間とともに野営による共同生活をとおして、様々な課題や困難を乗り越え、自主性、協調性、感受性等を育てるなど、次代を担う青少年の心豊かな人間形成を図ることを目的に開催した。

(1) 夏期子ども自然体験キャンプ

〈別表-1〉

ア. 子ども自然体験キャンプ《文部科学省後援/子どもゆめ基金助成活動》

期 間 7月～8月 <各3泊4日>
 開催数 6会場（あっさぶ、桧原湖畔、いばらき、瀬戸内海、鹿児島、沖縄）
 スタッフ等 204名
 参加者 397名（内、招待障害児9名）

イ. 子ども自然体験キャンプ

期 間 8月 <各3泊4日>
 開催数 2会場（富士山、関西）
 スタッフ等 92名
 参加者 207名

ウ. 瀬戸内海(小豆島)キャンプの旅

開催日 8月15日(火)～21日(月) <6泊7日>
 会 場 小豆島ふるさと村ほか
 スタッフ 2名（青木富造、谷野渉）
 参加者 4名

エ. 連合会等組織共催 子ども自然体験キャンプ

期 間 8月 <各3泊4日>
 開催数 5会場（美幌、房総、岐阜、広島、北部九州）
 スタッフ等 173名
 参加者 208名（内、招待障害児7名）

オ. 青少年活動（キャンプ）担当者会議

開催日 5月5日(金・祝)～7日(日) <2泊3日>
 会 場 ばんだいふれあいぴあ（福島県）
 スタッフ 3名（青木富造、板倉和也、谷野渉）
 参加者 19名（各地青少年活動〈キャンプ〉担当者）

カ. キャンプ主事・事務担当者

キャンプ名	主 事	事務担当者	キャンプ名	主 事	事務担当者
①あっさぶ	根岸 秋吉	真下 淳一	②桧原湖畔	谷野 渉	板倉 和也
③いばらき	志村 和也	中野 淳一	④瀬戸内海	板倉 和也	谷野 渉
⑤鹿 児 島	志村 和也	真下 淳一	⑥沖 縄	板倉 和也	小川 幸恵
⑦富 士 山	山崎 政弘	寺岡 賢	⑧関 西	山崎 政弘	寺岡 賢

キ. 子ども自然体験キャンプ事前調査《子どもゆめ基金助成活動》

No.	キャンプ名	実 施 日	派遣講師
1	あっさぶ	6月 5日(月)～ 7日(水)	真下 淳一
2	桧原湖畔	6月 5日(月)～ 7日(水)	谷野 渉
3	いばらき	6月13日(火)～14日(水)	志村 和也
4	瀬戸内海	6月19日(月)～21日(水)	板倉 和也
5	鹿 児 島	6月18日(日)～21日(水)	志村 和也
6	沖 縄	7月10日(月)～11日(火)	青木 富造 板倉 和也

ク. 共催キャンプへの講師・スタッフ等派遣

キャンプ名	派遣講師	キャンプ名	派遣講師	キャンプ名	派遣講師
⑨ 美 幌	保坂 正志	⑩ 房 総	谷野 渉	⑪ 友 愛	久世 郁夫
⑫ 広 島	根岸 秋吉	⑬ 北部九州	保坂 正志		

ケ. 印刷物の作成《子どもゆめ基金助成活動》

①「子ども自然体験キャンプ」リーフレットの作成

部 数 73,600部

体 裁 A2版、4色刷

(2) 冬期子ども自然体験(スキー)キャンプ

《第1回》

開催日 12月25日(月)～29日(金) <4泊5日>

開催地 福島県(ばんだいふれあいびあ及びグランデコスノーリゾート)

指導者等 7名(指導員:高橋源一郎、相田好美<各SAJスキー指導員>

講師等:青木富造、板倉和也、谷野渉

炊事員:小長谷貴子、近藤節子)

参加者数 77名(リーダー22名、キャンパー55名)

*スキーキャンプリーダー研修会

開催日 12月23日(土)～24日(日) <1泊2日>

スタッフ 2名(青木富造、谷野渉)

参加者 10名

《第2回》

開催日 3月25日(日)～29日(木) <4泊5日>
開催地 福島県(ばんだいふれあいぴあ及びグランデコスノーリゾート)
指導者等 9名(指導員:高橋源一郎、鈴木幸<各SAJスキー指導員>
講師等:武藤真希、青木富造、板倉和也、谷野渉
炊事員:小長谷貴子、近藤節子、ボランティア1名)
参加者数 53名(リーダー20名、キャンパー33名)

*スキーキャンプリーダー研修会

開催日 3月23日(金)～24日(土) <1泊2日>
スタッフ 2名(青木富造、板倉和也)
参加者 16名

(3) 子ども週末WAKU×2ひろば《子どもゆめ基金助成活動》

〈別表-2〉

自然体験活動や社会奉仕体験活動を実践している高校生・大学生等の青年指導者が集い、専門家や実践者を講師に招き、さまざまな体験活動やその展開方法についての学習をするとともに、新たな視点に立って展開する週末体験活動を模索し実践活動を行った。

ア. 子ども週末WAKU×2ひろばリーダー研修会

開催数 10会場 <各1日～1泊2日>
指導者等 16名
参加者 125名

イ. 子ども週末WAKU×ひろば

開催数 7会場 <各1日～1泊2日>
指導者等 43名(指導者8名、青年指導者35名)
参加者 369名

(4) 夏期少年少女合宿講習会(各地青年会議所等共催) 会場:伊勢青少年研修センター

期 日	名 称	参加者
7月24日(月) ～26日(水)	寺子屋伊勢合宿	54名
7月28日(金) ～30日(日)	第27回岸和田少年少女サマースクール	55名
8月1日(火) ～3日(木)	第46回伊勢少年少女合宿講習会	111名
8月26日(土) ～28日(月)	榎原ジュニアサマースクール	38名
合計	4回	258名
前年度	4回	273名

(5) 第13回40kmナイトウォーク親子の集い

開催日 9月9日(土)～10日(日)
会 場 伊勢青少年研修センター
対 象 小学3年生以上の子どもと大人
参加人数 157名

2. 子どもボランティア活動推進事業

“愛と汗の精神”に根ざした様々なボランティア活動を実践することにより、人のため、社会のために行動することの素晴らしさや真の喜びを体感した。お互いに理解し合い、分かち合い、豊かな感性を磨き、思いやる心や心豊かな人間形成に寄与する活動を行った。

(1) 第3回SYDきらめきメッセージ全国コンクール《文部科学省後援》

あなたが体験したきらめき、ブレイクスルー(壁を乗り越え前進すること)、自分の中の奇跡…、そこから生まれた思いやメッセージを発表することにより、青少年のやる気、元気を育てることを目的に開催した。

応募総数3,631点の中から事前審査で選ばれた15点が全国コンクールで発表され、最終審査の結果、下記受賞者が決まった。

開催日	平成30年2月11日(日)12時40分～14時30分	
会場	SYDホール	
審査委員	8名：御手洗康、山崎一紀、安仁屋聡、古賀克彦、石田博嗣、両家優子、宝井琴柑、青木富造 ※欠席：明石要一、田中浩史	
受賞者	・文部科学大臣賞1名	川添 透和 (唐津市立浜玉中学校3年)
	・理事長賞1名	光宗 樹生 (善通寺市立西中学校2年)
	・優秀賞3名	保科 怜里 (金沢大学附属中学校2年)
		山根 加蓮 (出雲西高等学校1年)
		金山澤杏朱 (宮城県農業高等学校3年)
	・きらめき賞10名	石田明日香 (宮城県・小4)、竹田南湖 (埼玉県・小6)
		鍵本百伽 (広島県・小6)、清川雅貴 (群馬県・中3)
		橋本 開 (島根県・高1)、野口翔太 (北海道・高2)
		毛利真尋 (富山県・高3)、鈴木 証 (東京都・大3)
		後迫春香 (大阪府・大4)、錦織愛里 (島根県・社会人)

(2) 幸せの種まきキャンペーン《文部科学省後援/子どもゆめ基金助成活動》

地域、学校(生徒会・ボランティア部)、PTA等と連携を図り、これまで実践しているフィリピン等での支援活動を紹介する。ストリートチルドレンやスカベンジャーなど「貧困と共に生きる子どもたち」の現状を理解することにより、ボランティア精神を涵養し、他者への思いやり、命の大切さ、親や周りの人へ感謝など、青少年の豊かな心を育むことを目的に開催した。

ア. 幸せの種まきキャンペーン《出前講座》の実施

〈別表-3〉

開催数	68会場
派遣講師	各2名(青木富造、山口千恵子、谷野渉)
体験発表者	3会場に各1名(小山可奈絵、水野杏奈、小林南)
参加者	7,999名

イ. パンフレットの作成・配布

部数	14,000部
体裁	A4版、8頁、4色刷
配布先	14,000ヶ所

(3) 東日本大震災仮設住宅訪問青少年ふれあいボランティア

《文部科学省後援/子どもゆめ基金助成活動》 **〈別表-4〉**

被災者の暮らす仮設住宅を訪問し、手作りのカレーやコーヒー等を提供するなかで、協力し合い、話し合い、喜びを分かち合う活動を行った。また、ゲームや遊びにより子どもたちの歓声がこだまするような至福の時間を共有する活動を行い、青少年がボランティア活動の真の喜びを体感し、思いやる心や豊かな人間性・社会性を高め、自ら考え・行動する力を育むことを目的に開催した。

期 間 5月～平成30年1月 <各2泊3日>
開 催 数 7回
活動場所 宮城県内の仮設住宅
スタッフ 20名
参 加 者 120名 (リーダー13名、参加者107名)

(4) 青年ボランティアゼミナール《子どもゆめ基金助成活動》

〈別表-5〉

期 間 5月～平成30年2月 <金曜日18:30～21:00>
開 催 数 8回
会 場 SYD会議室
講 師 14名
出 席 者 165名

3. SYD指導者の養成

自然体験や社会奉仕体験などのさまざまな実践活動を実践し、自ら活動の楽しみや喜びを体得するとともに、子どもたちを安全に導きながら体験活動を積極的に推進するための知識や技能を修得し、“愛と汗の精神”を日常的に実践するSYD指導者の養成に努めた。

(1) 全国青年ボランティア・アクション in 福島

《文部科学省後援/子どもゆめ基金助成活動》

福祉・災害ボランティア活動の心構えや基本的技術を習得し、福祉施設や公共施設、震災で避難生活を余儀なくされている仮設住宅等での社会奉仕体験活動を実践し、社会奉仕体験活動の楽しみや喜びを体得することによりボランティア精神を涵養し、指導者として資質の向上を図った。

《第1回》

開 催 日 7月29日(土)～8月3日(木) <5泊6日>
会 場 ばんだいふれあいぴあ、喜多方市、会津若松市、被災地仮設住宅ほか
講 師 1名：遠藤信幸 (町立三春病院ケアワーカー)
スタッフ 6名：山崎一紀、青木富造、岩佐加寿子、山口千恵子、板倉和也、谷野涉
参 加 者 34名 (全国の高校生等)

《第2回》

開 催 日 平成30年3月30日(金)～4月4日(水) <5泊6日>
会 場 ばんだいふれあいぴあ、喜多方市、会津若松市、被災地仮設住宅ほか
講 師 2名：遠藤信幸 (町立三春病院ケアワーカー)、高橋源右衛門
スタッフ 6名：山崎一紀、青木富造、岩佐加寿子、山口千恵子、板倉和也、谷野涉
参 加 者 32名 (全国の高校生等)

※「全国青年ボランティア・アクション in 福島」事前調査

期 日 6月5日(月)～7日(水) <2泊3日>
派遣者 青木富造
会 場 福島県下(喜多方市、会津若松市 他)

(2) 全国青年ボランティア・フォーラム《文部科学省後援/子どもゆめ基金助成活動》

幅広い分野でのボランティア活動についての協議を行い、ボランティアグループの活性化や老壮青の幅広い年代層を取り込んだボランティアを模索し、実践する青年リーダーの育成を図った。

開催日 10月7日(土)～9日(月・祝) <2泊3日>
会 場 国立オリンピック記念青少年総合センター
講 師 渋谷喜考(芝浦工業大学修士2年)
指導者等 5名：山崎一紀、青木富造、山口千恵子、板倉和也、谷野涉
参加者 21名(全国の中学生及び高校生等)

(3) 全国青少年ボランティア・フェスティバル

《文部科学省後援/子どもゆめ基金助成活動》

ボランティア活動や活動の中での気づきや思いを発信する機会として開催し、そこから明るい社会を築くためには、あるいは周りや自分自身を輝かせるために何ができるかを考え、今後の活動の促進を図るための青年リーダーを養成に努めた。

開催日 平成30年2月10日(土)～12日(月・振) <2泊3日>
会 場 SYDホール及び国立オリンピック記念青少年総合センター
臨 席 2名：御手洗康理事長、山崎一紀主幹
指導者等 5名：青木富造、山口千恵子、古城門奈津、板倉和也、谷野涉
実行委員 7名：組織の代表者および有志(高校生以上の青年)
参加者 48名(全国の青少年および青少年指導者)

★SYD創立112周年記念全国青年フェスティバル来場者

開催日 平成30年2月11日(日) 12時30分から16時00分

会 場 SYDホール

来場者 203名 ※以下内訳

来賓(文部科学省1名、奨励賞審査委員1名)	2名
きらめきメッセージ全国コンクール審査員	8名
SYDボランティア奨励賞(受賞者・関係者)	16名
きらめきメッセージ全国コンクール(発表者15、引率応援15)	30名
全国青年ボランティア・フェスティバル参加者55名(-3名)	52名
青春パフォーマンス(日本体育大学チアリーディング部25、アコースティックデュオふたば2、成蹊高等学校ダンス部19、鶴見大学附属中学高校JRC国際ボランティア部20)	66名
一般(組織関係23名+青年部関係5名)	28名

(4) 指導者養成事業報告書の作成

部 数 800部

体 裁 A4版

(5) SYD指導者資格認定制度

愛と汗の精神を理解し、自然体験活動や社会奉仕体験活動等を日常的に展開する指導者の養成を目的に実施する各種事業参加者に指導者資格証を発行するなど、SYD指導者資格認定制度の運用と充実を図った。

4. 青年組織育成活動

“愛と汗”の精神に基づいた自然体験・社会奉仕体験活動を年間を通して実践する青年部組織の育成・充実のため講師の派遣や活動資金の助成をした。

5. 関係機関・団体との協力

(1) 会議出席

〈別表-6〉

青少年の健全育成ならびに社会教育に寄与する活動の充実を図り、青少年教育及び社会教育の関係機関・諸団体との協力・連携を図ることを目的に、会議出席するなどの活動を行った。

Ⅱ. 国際交流活動

1. 貧困と共に生きる子どもたちの支援活動 (サポーティングプログラム)

フィリピンケソン市パヤタスのゴミ山で働く子どもたち(スカベンジャー)やマニラ市のストリートチルドレン(路上で生活する子どもたち)を訪問し、ボランティア活動・交流活動・支援活動の実践をとおして友好と相互理解を促進した。このことにより、自ら生きる意味を模索し、国際的視野を広げ、国際協力の精神を涵養し、国際協力における実践力を培い、学校や地域で活動する青少年指導者を育成することを目的に開催した。

(1) 青年ボランティア・アクションinフィリピン 《文部科学省後援》

期 日 8月22日(火)～28日(月) <6泊7日>
訪 問 地 フィリピン(マニラ市、ケソン市、他)
スタッフ 青木 富造、山口 千恵子
参 加 者 32名(全国の満15歳以上の中学生、高校生、大学生等の青年)
主な活動 ケソン市パヤタス、マニラ市ハッピーランド、サンマテヨ市を訪問し極貧の中で暮らす子どもたちを訪問し、交流・支援活動を行うとともに、ゴミ捨て場周辺で暮らす子どもたちとその家族を遊園地や動物園に招待するなどの活動を行った。

(2) 青年ボランティア・アクション in フィリピン 支援バッグ作成作業

期 日 8月10日(木)、11日(金・祝) <2日間>
参 加 者 27名(10日:21名、12日:6名)

2. ブラジルとの指導者交流事業

(1) ブラジル青少年指導者の招聘

ブラジル修養団の推薦する指導者及び青年リーダーを招聘し、伊勢市での少年少女講習会や福島県での子ども自然体験キャンプなどの参加・研修することにより、ブラジルで開催される少年少女講習会等で活躍する青少年指導者の養成を図った。

期 日 7月18日(火)～8月14日(月) <28日間>
 招聘者 サントス 松岡 ヴィトル (29歳・大学生)
 安楽 愛 カーレン (22歳・社会人)
 主な日程 本部研修、伊勢研修、ばんだいふれあいぴあ、都内視察ほか

(2) ブラジルへの指導者派遣

ブラジル修養団の要請に応じて指導者を派遣し、日伯文化協会等と連携しながら開催される少年少女講習会や教育講演会及びブラジル修養団青年指導者研修会等に従事した。

期 日 平成30年1月3日(水)～2月10日(土) <39日間>
 派遣先 ブラジル (サンパウロ、モジ、スザノ、マリンガ他)
 派遣者 谷野渉 (青年部・講師補)
 主な活動 少年少女講習会、リーダー研修会、講演会等

期 日	講習・講演会名	参加者	スタッフ リーダー	計
1/ 5～ 7	モジ・ダス・クルーゼス少年少女講習会	156名	73名	229名
1/ 2～14	スザノ少年少女講習会	146名	70名	216名
1/16～18	アサイ少年少女講習会	121名	28名	149名
1/19～21	マウア・ダ・セーハ少年少女講習会	62名	27名	89名
1/23～25	ロンドリーナ リーダー養成研修会	25名	20名	45名
1/26～28	マリンガ修養林間学校 (少年少女)	126名	41名	167名
1/27	マリンガ講演会	75名	1名	75名
2/ 3～ 4	ブラジル修養団リーダー研修会	32名	5名	37名
合 計 8回		743名	264名	1,007名

公益2

Ⅲ. 講習会・講演活動

1. 伊勢講習会 会場：伊勢青少年研修センター

〈別表-7〉

(1) みがく講習会 (定例講習会)

開催数 10回 <各3泊4日>
 参加者 368名 (平均36名、定員各60名)
 対 象 企業の新入社員・中堅社員・幹部社員他

(2) みがく特別講習会

開催数 5回 <各1泊2日>
 参加者 531名 (平均106名、定員各100名)

(3) 特別講習会

ア. 神嘗祭講習会

期 日 A：初穂曳コース：10月15日（土）～17日（月）＜2泊3日＞
B：神嘗祭コース：10月16日（日）～17日（月）＜1泊2日＞
参加者 A：35名（定員50名） B：8名（定員50名） 計43名
対 象 一般社会人

イ. 初詣新春の集い

期 日 平成30年1月7日（日）～8日（月・祝）＜1泊2日＞
参加者 25名（定員80名）

(4) 受託講習会

〈別表-8〉

開催数 16回
参加者 839名

(5) 一般研修会

〈別表-9〉

開催数 18回
参加者 904名

(6) 講師派遣（講演・講習活動）

〈別表-10〉

開催数 57回
参加者 6,117名

2. 関東・東北地区等講習会

(1) 新入社員セミナー

期 日 4月12日（水）～14日（金）＜2泊3日＞
会 場 レイクサイド磐光(福島県)
参加者 91名
講師等 白石高司、木下茂美、山崎一紀、根岸秋吉、志村和也、谷野渉

(2) リフレッシュセミナー

期 日 平成30年2月7日（水）～9日（金）＜2泊3日＞
会 場 レイクサイド磐光(福島県)
参加者 20名
講師等 鈴木義信、山崎一紀、根岸秋吉、志村和也

(3) 受託セミナー

〈別表-11〉

ア. 新入社員セミナー

- ① 1日コース
開催数 2回
参加者 137名
- ② 1泊2日コース
開催数 4回
参加者 372名
- ③ 2泊3日コース
開催数 4回
参加者 113名

イ. ブラインドウォークセミナー

① 半日コース

開催数 2回

参加者 151名

ウ. パート社員セミナー

① 1日コース

開催数 13回

参加者 915名

エ. 一般社員セミナー等

① 1日コース

開催数 5回

参加者 145名

② 1泊2日コース

開催数 16回

参加者 902名

オ. 講演会

開催数 1回

参加者 74名

2. 企業組織訪問

講演会、講習会の参加者募集及び団運動の拡大を目的として企業及び組織を訪問した。

期 日	訪問地域	訪問社数	巡回者
9月20日(水) ～22日(金)	北陸地区(福井県・富山県・石川県) 近畿地区(京都府・兵庫県) 中部地区(岐阜県)	10社	根岸
10月18日(水) ～19日(木)	茨城県下(ひたちなか市・日立市)	11社	根岸
10月24日(火) ～27日(金)	福島県下(白河市・郡山市・本宮市・田村市他) 栃木県下(栃木市)	27社	根岸・志村
合 計	3回	48社	

* 連合会・クラブ、企業・青少年団体等の主催講習会・講演会

〈別表-12〉

(1) 講習会

開催数 61回

参加者 3,406名

(2) 講演会

開催数 62回

参加者 6,240名

IV. 家庭教育活動

1. 家庭教育セミナー

親子のあり方、高齢社会における世代間交流など、現代の家庭を取り巻く諸問題に焦点をあて、家庭が本来持っている機能や役割(家庭力)を再認識することで、幸せな家庭やイキイキとした地域社会づくりに資するためのセミナーを実施した。

開催にあたっては、実施主体のニーズに応じて講演会や体験活動などを用いて、参加者の意識や日常行動の改善につながる具体的実践を提案した。

開催日	開催地	会場	実施団体	参加者数	講師
10月20日(金)	新潟県 新潟市	豊栄地区 公民館	修養団新潟県連合会 修養団豊栄	27名	保坂正志
11月11日(土)	三重県 伊勢市	伊勢青少年 研修センター	修養団伊勢向上会 修養団岐阜県連合会 青年部灯会 修養団伊勢いなほの会	24名	山崎一紀 保坂正志
1月28日(日)	香川県 高松市	香川県 教育会館	修養団香川県連合会	65名	山崎一紀 保坂正志
3月25日(日)	埼玉県 寄居町	寄居町男衾 コミュニティセンター	修養団寄居クラブ 協力：修養団埼玉県連合会	34名	武田数宏 保坂正志
合計	4回			150名	

2. 親子で楽しむ漁業体験 in 孤崎

漁業体験を親と子がともにする中で、多くの人や自然に生かされていることを実感しながら、子どもたちの自主性や協調性を育み、親子の絆を深める機会とした。

開催日	開催地	会場	実施内容	参加者数	スタッフ
5月20日(土) ～21日(日)	宮城県 石巻市	狐崎漁村センター 狐崎漁港	カキ養殖の漁具整備 カキ剥き、刺し網漁体験 など	27名	根岸秋吉 保坂正志 志村和也
9月9日(土) ～10日(日)				23名	根岸秋吉 保坂正志 志村和也
合計	2回			50名	

V. 会員・組織活動

1. 「幸せの種まき運動」の推進

会員及び会員組織と連携を図るとともに、諸団体にも呼びかけ、「愛と汗」を基本に下記事業を展開し、心ひとつにして「幸せの種まき運動」の推進を図った。

(1) 愛汗実践塾

「愛と汗」を基本とした修養団の理念を学び、「幸せの種まき」を実践するための意識を高める機会として、連合会・クラブを実施団体とし研修会形式を用いて各地で開催。合わせて会員組織の活性化や後継者育成、会員拡大を図った。

開催日	開催地	会 場	実施団体	参加者数	講 師
10月13日(金)	福島県 北塩原村	グループホーム さくら	修養団愛汗喜多方 修養団福島県連合会 協力：修養団山都愛汗の会 後援：医療法人佐原病院 福島民報社 ほっと・ねっと社	27名	久世郁夫 志村和也
11月10日(金)	新潟県 三条市	下田公民館	修養団新潟県連合会 修養団下田	36名	久世郁夫
11月19日(日)	北海道 美幌町	美幌町 しゃきっとプラザ	修養団美幌会	44名	山崎一紀 保坂正志
3月 4日(日)	岐阜県 大垣市	大垣公民館	修養団岐阜県連合会 青年部灯会	18名	山崎一紀 保坂正志
合 計	4回			125名	

(2) 第9回「チャリティー演芸会」七夕まつりで笑しょうの巻ーストリートチルドレン支援ー

日 時 7月7日(金) 18時30分～20時30分

会 場 SYDホール

出演者 立川らく次、春風亭びっかり、立川志の太郎、柳亭市童

参加者 81名

係 員 8名(ボランティア・職員)

※収益金104,501円を「幸せの種まき献金」へ繰り入れた。

(3) 第1回「『東京ベルズ』ハッピーヴォイスチャリティーコンサート」

ーストリートチルドレン支援ー

ヴォイスティーチャー・高牧康さんが代表を務めるNPO法人「東京ベルズ」メンバーによるチャリティーコンサートをおこない、19曲披露をした。

日 時 10月13日(金) 18時30分～20時30分

会 場 SYDホール

参加者 140名

出演者 高牧康、御幸りか、花岡るみ、古谷万理子、白瀬恵、松本久志、古葉映、ラジアン円、サンライズグループ

※収益金790,944円を「幸せの種まき献金」へ繰り入れた。

(4) SYD「チャリティーバザー」ーストリートチルドレン支援ー

関係企業・団体およびクラブ・連合会等からの名産品や野菜等を会員ボランティア30名と役職員が係員となって格安で販売した。また、埼玉県連合会会員47名がバスを利用して、都内観光を兼ねて参加した。

期 日 11月11日(土) 12時00分～14時00分

会 場 SYDビルエントランスホール及びSYDホールなど

参加者 300名(近隣住民および会員など)

※収益金177,912円を「幸せの種まき献金」へ繰り入れた。

2. 会員組織活動への支援など

(1) 第6回「全国修養団運動推進会議」の開催

日時	6月3日(土)	13時～17時30分
会場	SYDホール	
出席者	58名	
	主なクラブ・連合会の代表者またはそれに準ずる人	35名
	オブザーバー	4名
	役職員	19名
内容等	平成28年度事業報告及び平成29年度事業計画の概要説明をおこなった。続いて、会員組織活動活性化のために参加者全員がそれぞれ5つの分科会（自然体験活動、週末体験活動、家庭教育活動、愛汗実践塾、美化活動）に分かれて協議をおこない、協議終了後には各分科会から発表がおこなわれた。	

(2) 講師・役職員の派遣

クラブ・連合会の総会や諸活動に講師・役職員を派遣した。 回数: 18回

*下記は、開催日、事業名、参加者数、会場、派遣者名の順

4月23日	修養団新潟県連合会「定期理事会・役員総会」 16名（新潟市・新潟東映ホテル）	【山崎、保坂】
5月20日	SYDボランティア友の会「第10回総会」 15名（SYD会議室）	【山崎、久世、小川】
5月26日 ～27日	SYD東京ネイチャークラブ「蓮沼門三生誕地訪問ツアー」 18名（福島県喜多方市ほか）	【小川、志村】
5月27日	修養団愛汗郡山「第12回定例総会・理事会」 9名（郡山市・花の祥）	【久世】
6月 3日	修養団よよぎっこ倶楽部「笑顔のつどい」 32名（東京都・キングスランド）	【山崎、久世ほか】
6月16日	修養団愛汗喜多方「平成29年度総会」 27名（喜多方市・厚生会館）	【久世】
6月18日	修養団鹿児島県連合会「平成29年度総会」 14名（鹿児島市・加治屋町町民館）	【山崎、志村】
6月20日	修養団山都愛汗の会「平成29年度総会」 11名（喜多方市・山都開発センター）	【山崎】
6月23日	修養団神奈川県連合会「第35回定期総会」 10名（横浜市・はせがわビル）	【山崎、保坂、小川】
6月27日	修養団埼玉県連合会「平成29年度総会」 20名（埼玉県嵐山町・金泉寺）	【山崎、根岸】
6月29日	修養団千葉県連合会「第43回定期総会」 21名（千葉市・バーディーホテル千葉）	【山崎、根岸】
7月 7日	修養団日立システムズ五十鈴会「第29回定期総会」 12名（横浜市・はせがわビル）	【久世、小川】
7月13日	修養団福島県連合会「平成29年度通常総会」 29名（郡山市・ベルヴィ郡山館）	【山崎、保坂】
7月29日	修養団日立電子サービスOB五十鈴会「平成29年度総会」 7名（東京都江東区・株日立システムズフィールドサービス会議室）	【保坂、小川】
11月10日 ～11日	修養団新潟県連合会「会員研修会」 14名（三条市・風雅亭山水）	【久世】

- 1 2月23日 皇居参賀の集い実行委員会<千葉県・神奈川県・東京都各修養団連合会>
「天皇誕生日・奉祝～皇居参賀の集い」
5 6名（東京都・皇居） 【保坂、小川、志村】
- 1月26日 SYDボランティア友の会「第31回沖縄戦遺骨収集ボランティア」
～30日 3 9名（沖縄県糸満市・山雨の塔、南北の塔） 【真下】
- 3月 4日 修養団東松山向上会「第54回箭弓稲荷神社清掃奉仕並びに講演会」
《後援：修養団埼玉県連合会》
3 6名（埼玉県東松山市・箭弓稲荷神社） 【根岸】

(3) 喜多方市教育委員会「人づくりの指針講師派遣事業」への支援

要請により、講師を派遣した。

- 7月11日 「蓮沼門三翁の教え」学習講演会
1 1名（喜多方市堂島小学校） 【久世】
- 7月14日 「生き方を考える『地域理解学習』講演会」
9 3名（喜多方市立塩川中学校） 【久世】
- 10月15日 「郷土の発展に尽くした先人」探訪ツアー
1 7名（ばんだいふれあいぴあ） 【久世、佐藤、志村】
- 11月28日 「蓮沼門三の生涯」講演会
6 4名（喜多方市姥堂地区公民館） 【久世】
- 1月28日 「新春関柴のつどい」講演・講演
1 1 1名（喜多方市関柴公民館） 【宝井琴柑、久世】

(4) 講演会への講師派遣

- 6月18日 楊名時太極拳堀道場「幸せの種まき講演会」
※後援：修養団鹿児島県連合会 2 0名（鹿児島県薩摩川内市・堀道場）
【久世】
- 6月25日 上小黒部町内会レクリエーション・第13回敬老会
「幸せの種まき講演会」 3 4名（北海道江差町・上小黒部町寿の家）
【久世】

(5) 皇居勤労奉仕の集い(実施：伊勢青少年研修センター)＜新規＞

ア. 第1回

- 期 日 5月23日(月)～26日(金) <4泊5日>
スタッフ 3名（武田数宏、寺岡賢、山崎政弘）
参加者 42名

イ. 第2回

- 期 日 11月27日(月)～12月1日(金) <4泊5日>
スタッフ 2名（寺岡賢、山崎政弘）
参加者 24名

(6) 「修養団創立112周年を祝う集い」への支援

千葉県(担当連合会)・神奈川県・東京都各連合会の合同主催で実施され、その支援をおこなった。

- 日 時 2月11日(祝・日)
会 場 SYDホール
内 容 ・記念式、修養団年次功労者表彰
・記念講演「青年とともに歩む～青年の社会貢献～」

(学校法人千葉黎明学園理事長・校長 西村清氏)

・祝賀会

参加者 97名

(内訳) 関東地区連合会関係者 23名

全国青年ボランティア・フェスティバル参加者 55名

修養団役職員 19名

(7) 活動助成金の支出

クラブ・連合会の活動の拡充と活性化を図ることを目的とし、修養団のクラブ・連合会が行う活動に助成金を交付した。

11月23日 SYD東京ネイチャークラブ「晩秋の比企丘陵と座禅体験の旅」

17名(埼玉県比企郡) ※助成金額3万円

1月31日 修養団伊勢いなほの会会報「たわわ(第10号)」発行

※助成金額3万円

(8) 諸団体との連携

5月16日 千修会「理事会」

7名(SYD会議室)

【保坂】

6月20日 千修会「平成29年度定期総会」

11名(SYD会議室)

【保坂】

10月6日 千修会「秋休みバスツアー」

28名(埼玉県所沢市、狭山市)

【根岸】

12月13日 千修会「理事会」

6名(SYD会議室)

【保坂】

3. 会員状況と会員組織

諸事業において会員申込案内パンフレットを配布した。また、機関誌等によって会員拡大を呼びかけるとともに、クラブ・連合会には、特に夏期事業等を通じての会員加入促進をお願いした。

(1) 会員の現状

〈別表-13〉

会員種別	当年度(30.3.31現在)	前年度(29.3.31現在)	増減
ふれあい会員	503	492	11
愛会員	574	603	△29
向上会員	1,297	1,469	△172
永生会員	10,728	10,728	0
合計	13,102	13,292	△190

(2) 後援会会員の現状

会員種別	当年度(30.3.31現在)	前年度(29.3.31現在)	増減
法人会員	98	99	△1
個人会員	158	169	△11
合計	256	268	△12

VI. 幸せの種まき献金活動

1. 募金活動

会員組織、会員及び「幸せの種まきキャンペーン《出前講座》」実施校などを通じて募金活動をおこなった。引き続き東日本大震災被災者支援について呼びかけるとともに、7月に発生した九州北部豪雨被害に対しても支援を呼びかけた。

単位：円

		4月	5月	6月	7月	8月	9月
月計金額		142,622	99,413	323,416	429,183	536,977	794,439
《一般献金》		46,731	37,129	111,416	45,527	142,777	617,778
《指定献金》		95,891	62,284	212,000	383,656	394,200	176,661
指定 献金 内訳	東日本大震災被災者支援	10,000	19,142	0	17,544	10,000	67,990
	九州北部豪雨被災者支援	0	0	0	37,000	73,200	0
	フィリピン 子ども学資支援	54,000	0	90,000	36,000	216,000	72,000
	大学生学資支援	17,891	3,191	108,000	279,112	36,000	2,671
	学校支援	14,000	39,951	14,000	14,000	59,000	34,000

		10月	11月	12月	30年1月	2月	3月
月計金額		1,035,066	474,729	876,824	259,232	320,607	213,881
《一般献金》		895,358	252,348	571,919	112,307	173,339	79,802
《指定献金》		139,708	222,381	304,905	146,925	147,268	137,079
指定 献金 内訳	東日本大震災被災者支援	0	115,366	0	14,925	0	50,000
	九州北部豪雨被災者支援	11,313	0	0	0	0	0
	フィリピン 子ども学資支援	72,000	0	54,000	90,000	0	72,000
	大学生学資支援	22,316	2,000	11,405	18,000	2,430	1,079
	学校支援	34,079	105,015	239,500	24,000	144,838	14,000

		今年度合計		前年度合計	
年間合計金額		5,506,389	(233件)	5,935,417	(262件)
《一般献金》		3,083,431	(114件)		
《指定献金》		2,422,958	(119件)		
指定 献金 内訳	東日本大震災被災者支援	304,967	(12件)		
	九州北部豪雨被災者支援	121,513	(11件)		
	フィリピン 子ども学資支援	756,000	(40件)		
	大学生学資支援	504,095	(21件)		
	学校支援	736,383	(35件)		

2. 支援活動

海外のストリートチルドレン支援として、フィリピンの子供48名、大学生4名の学資支援、子供たちが学ぶ2つの学校の支援を行い、また、ブラジルの施設も支援した。さらに、7月に発生した九州北部豪雨の被災者への支援をおこなった。

(※=全て指定献金/ **=一部指定献金)

〈東日本大震災被災者支援〉

- ・「SYD東日本大震災仮設住宅訪問青少年ふれあいボランティア」
活動経費(※特別開催を含め7回分、食材費) 483,649円**

〈その他の災害被災者支援〉

- ・フィリピン： フィリピン火災による被災者支援
(マニラ市トンド地区・ハッピーランド避難所) 30,000円
- ・福岡県朝倉市： 九州北部豪雨災害義援金 150,000円**

〈ストリートチルドレン支援〉

- ・フィリピン： ストリートチルドレン(学用品プレゼント、遠足招待等) 700,000円
- ・フィリピン： 子ども(幼稚園～高校生)学資支援(スカベンジャー・48名) 864,000円※
- ・フィリピン： 大学生学資支援(スカベンジャー・4名) 720,000円**
- ・フィリピン： 「パンガラップ・ラーニング・スクール」
(学校運営支援・10万円×12ヵ月) 1,200,000円**
- ・フィリピン： 「マザー・テレサの家」(支援品) 35,604円
- ・ブラジル： 「コロニア・ベネーザ」(教育支援金) 70,000円

〈福祉施設・団体支援〉

- ・福島県： 山都デイサービスセンター「しゃくなげホーム」 60,000円
- ・三重県： 伊勢身体障害者「協和会」 80,000円
- ・三重県： NPO法人「たまき末芳園」 80,000円
- ・三重県： 社会福祉法人まほろばの里「しいの木園」 30,000円

合 計 4,503,253円
前年度合計 5,503,146円

3. 幸せの種まき献金委員会の開催

(1) 幸せの種まき献金委員会の開催

以下のように定期的に開催し、活動の充実・推進について協議した。

平成29年 4月10日、5月9日、6月8日、7月12日、9月11日、
10月11日、11月8日、12月8日

平成30年 1月10日、2月14日、3月8日

(2) 報告書の作成・配布

平成28年度活動報告書(1,000部)を発行し、クラブ・連合会、募金して下さった方々などに送付した。

VII. 出版・広報活動

1. 機関誌「向上」「愛」の発行

(1) 「向上」

号	発行部数	随想テーマ
4月号	2,800	行動する力
5月号	2,700	生活する力
6月号	2,900	気づく力
7月号	2,600	想像する力
8月号	2,500	仲間の力
9月号	2,600	理解する力
10月号	2,700	集中する力
11月号	2,600	表現する力
12月号	2,700	つなげる力
1月号	3,000	決断する力
2月号	3,000	立ち上がる力
3月号	2,700	実現する力
合計	32,800部	(前年度36,300部)

(2) 「愛」

号	発行部数	備考
4月号	1,200	
5月号	1,100	
6月号	1,300	
7月号	1,700	「ふれあい特集号」500部含む
8月号	1,100	
9月号	1,200	
10月号	1,300	
11月号	1,800	「ふれあい特集号」463部含む
12月号	1,400	
1月号	1,500	
2月号	1,700	
3月号	1,800	「ふれあい特集号」508部含む
合計	17,100部	(前年度17,600部)

2. 平成30年版「日々の力」の制作・販売

(1) 制作

題名 「元気万歳！」
 作者 〈絵と文字〉佐藤 和喜（墨彩画家）
 内容 明るく元気な職場づくり、心温まる家庭づくりのために心がけたいこと、実行したいことを31日分の言葉にまとめ、絵手紙風の絵を添えて制作。
 体裁 日めくり式短冊形・33枚、カラー刷り
 印刷部数 17,000部(宣伝用含む)
 第1回納品－7月12日、第2回納品－9月4日

(2) 販売

ダイレクト・メールや「向上」誌等で会員や「日々の力」愛好者への普及に努めるとともに、会社・団体の年末年始贈答品としての利用を呼びかけた。

区 分	件 数	部 数
SYDオリジナル	68	2,280
予 定 表 付	23	169
無 地	47	589
注文名入れ印刷	57	11,560
合 計	195件	14,598部
前年度合計	194件	15,601部

※ 9月14日～9月15日

修養団新潟県連合会の協力を得て新潟県下11社を販売促進活動で訪問【保坂】

3. 教育図書の普及、教材の販売

『蓮沼門三の言葉110』、『人生のことば365日』、『蓮沼門三物語』などの図書、研修教材の『人生ガイドー研心』などを普及・販売した。

4. 「SYDかわらばん〈最新活動情報〉」の発行・送付

SYD事業や会員組織活動の最新情報を届けることを目的に、毎月20日頃(8月を除く)に各1,100部(2頁～6頁)を発行し(NO.106～116)、クラブ・連合会・評議員等へ送付するとともに、事業参加者等に手渡し配布した。

また、その全記事をSYDホームページ「webかわらばん」で紹介した。

5. 広報活動

(1) ホームページの充実

SYD事業の予定や報告、参加者募集の呼びかけ、さらに、SYDの理解を深めてもらうための各種情報を発信した。また、よりよい情報発信を目指し、3月26日にリニューアルを実施した。

公益4・収益1

VIII. 施設運営事業

1. 伊勢青少年研修センター

〈別表-14〉

(1) 利用状況

ア. SYD主催講習会等

回 数 19回 (前年度19回)

利用者数 1,474名 (前年度1,451名)

イ. 受託講習会等

回 数 20回 (前年度25回)

利用者数 1,097名 (前年度1,096名)

ウ. 一般研修会等

回 数 18回 (前年度26回)

利用者数 904名 (前年度1,312名)

2. ばんだいふれあいびあ

〈別表-15〉

(1) 利用状況

- ・利用回数 33回（前年度35回）
- ・利用者数 913名（前年度905名）
- ・延べ利用者数 2,772名（前年度2,740名）

(2) 施設整備等

- ・「うぐいす」「かっこう」外壁塗装工事（8～9月）
- ・「うぐいす」「かっこう」外壁塗装に伴う出入口部分一部解体撤去工事（9月上旬）
- ・10/28（土）～29（日）キャンプ場テント整備（青木、谷野、板倉）
- ・1/22（月）年始挨拶回り（青木、佐藤）

3. 修養団SYDビル

(1) SYDホールおよび会議室の貸出状況

ア. SYDホール

回数 173回（前年度164回）
利用者数 23,010名（前年度21,760名）

イ. SYD会議室（16階）

回数 56回（前年度47回）
利用者数 1,080名（前年度670名）

(2) 施設の整備等

テナント、ホール利用者に快適なオフィス環境の提供や利用促進を行うため、以下の整備等を行った。

ア. SYDホール

- ・ホール補助熱源修理工事（10月）
- ・ホール空調用ダンパー交換工事（12月）
- ・波の間空調機修繕工事（12月）

イ. SYD会議室

- ・会議室天井照明器具交換工事（6月）

4. 関西会館

テナント（1階、2階部分）の適正管理を行った。

その他

IX. 関係機関・団体との協力活動

1. 関係機関・団体への委員等の就任

- ・社会教育団体振興協議会 会長 御手洗康
〃 幹事 久世郁夫
- ・（独）国立青少年教育振興機構
ミクロネシア事業総合評価委員会 委員 久世郁夫

2. 諸会議等への出席

(1) 社会教育団体振興協議会

ア. 第1回幹事会

開催日 5月12日(金)

会場 SYD会議室

参加者 7名

出席者 御手洗康、久世郁夫

イ. 平成29年度総会・講演会

開催日 6月30日(金)

会場 国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都渋谷区)

参加者 40名

出席者 御手洗康、久世郁夫

ウ. 第2回幹事会

開催日 平成30年1月12日(金)

会場 倫理研究所(東京都港区)

参加者 12名

出席者 御手洗康

エ. 第32回文部科学省と語る会

開催日 平成30年3月16日(金)

会場 文部科学省講堂(東京都千代田区)

参加者 40名

出席者 御手洗康、久世郁夫、保坂正志

(2) その他

ア. 体験の風をおこそう推進委員会「体験の風をおこそうフォーラム」

開催日 11月28日(火)

会場 オリピック記念青少年総合センター

出席者 内田知美、谷野渉

イ. (公財) パナソニック教育財団「子どもたちの“こころを育む活動”表彰式」

開催日 平成30年2月6日(火)

会場 帝国ホテル(東京)

出席者 久世郁夫

X. 表彰

1. 第12回SYDボランティア奨励賞

(1) 募集活動

募集パンフレット18,000部を作成し、《出前講座》開催校、全国の中・高・学校へ送付すると共に、関連団体、全国の県・市教育委員会へ広報依頼をしたところ、全国32都道府県から63件の応募があった。

(2) 選考委員会の開催

開催日 12月20日(水) 11時～13時30分

会場 SYD会議室

出席者 選考委員 7名

仲野 好重 (一般財団法人人間塾代表理事)

長沼 豊 (学習院大学教授)

堀井 榮夫 (全日本中学校長会事務局長)

山田 一功 (社団法人ひかりの里理事長、公益社団法人日本PTA
全国協議会元副会長)

御手洗 康 (修養団理事長)

山崎 一紀 (修養団主幹)

青木 富造 (修養団常務理事・青年部長)

職員 3名

岩佐加寿子、真下淳一、山口千恵子

文部科学大臣賞 1点

兵庫県立舞子高等学校 天文気象部 (兵庫県)

優秀賞 2点

【小・中学生の部】名古屋市立北山中学校 ボランティア部 (愛知県)

【高校生の部】東京都立大島高等学校 カメリアユナイテッド (東京都)

【大学・一般の部】該当なし

特別賞 1点

広島県立広高等学校 書道部 (広島県)

(3) 贈呈式 * 「全国青年ボランティア・フェスティバル」の中で開催

開催日 平成30年2月11日(日・祝) 15時～16時

会場 SYDホール

出席者 203名 (受賞関係者16名、来賓3名、全国青少年ボランティア・フェスティバル参加者52名、きらめきメッセージ全国コンクール(審査員含む)38名、青春パフォーマンス出演者4団体66名、一般28名)

内容 文部科学省大臣官房審議官の神山修様より来賓祝辞と文部科学大臣賞・副賞の贈呈、選考委員の人間塾代表理事の仲野好重様より選考経過を報告、御手洗理事長より優秀賞と特別賞の贈呈、その後各賞受賞者からの活動発表が行われた。

2. 平成29年度功労者表彰

【名誉団員】 佐藤 清 (新潟県) <敬称略>

【表彰】 個人： 8名、団体： 2団体

【感謝状】 個人： 22名 団体： 3団体

XI. 諸会議の開催等

1. 理事会

(1) 第1回理事会

期 日 5月18日(木)
会 場 SYD会議室
出席者 理事：10名、監事：2名、主幹：1名
欠席者 理事：3名、監事：1名
議 題 ア. 平成28年度事業報告について
イ. 平成28年度収支決算について
ウ. 前田嘉弘評議員の辞任に伴う後任候補者の推薦について
エ. 評議員選定委員会の開催と選定委員の選任について
オ. 平成29年度上期慰労手当の支給について

(2) 第2回理事会

期 日 12月19日(火)
会 場 SYD会議室
出席者 理事：11名、監事：1名、主幹：1名
欠席者 理事：2名、監事：1名
議 題 ア. 平成30年度基本方針・事業計画大綱について
イ. 平成30年度予算大綱について
ウ. その他 ①下期慰労手当の支給について
②職員の採用(12/4付け、中山貴生)について
③SYD ボランティア奨励賞、SYD きらめきメッセージ全国コンクールについて

(3) 第3回理事会

期 日 平成30年3月23日(金)
会 場 SYD会議室
出席者 理事：8名、監事：2名、主幹：1名
欠席者 理事：5名
議 題 ア. 平成30年度事業計画(案)について
イ. 平成30年度収支予算(案)について
ウ. 評議員会の開催について
エ. その他 ①次回の理事会について

(4) 事業経過報告書と収支月報の送付

9月16日付けで4～8月までの「事業経過報告書」と「収支月報」を理事・監事・評議員に送付した。

2. 評議員選定委員会

期 日 6月2日(金)
出席者 委員5名(外部委員：上村忠男・中西康成、評議員：漆原幸保、監事：深町均、事務局員：真下淳一)
本部役員2名(御手洗理事長、久世事務局長)
議 題 評議員の選定について(川原宣子氏を選任)

3. 第7回評議員会

期 日 6月2日(金)
会 場 SYD会議室
出席評議員 7名 欠席評議員 6名
議 題 ア. 郡司俊雄、前田嘉弘両評議員辞任と川原宣子評議員選任の経過について
イ. 平成28年度事業報告並びに収支決算について
ウ. 平成29年度事業計画並びに収支予算について
エ. 平成30年度事業計画への要望について
オ. 監事の辞任とそれに伴う選任について(板垣和彦氏を選任)

4. 後援会役員会

期 日 6月19日(月)
会 場 SYD会議室
出席者 4名(常任幹事:3名、監事:1名)
本部役職員 5名

5. 顧問会

*本年は諸般の事情により開催中止とした。

6. 弔事

(1) 物故団員・同志ご芳名

北海道	竹原 恒明 殿	4月 8日	SYD修養団端野会会長
福岡県	森 洋 殿	7月10日	永生会員、後援会員
福岡県	平田 康子 殿	8月17日	ジャズシンガー、SYDチャリティーJAZZコンサート協力者
神奈川県	蓮沼 献三 殿	9月18日	永生会員
東京都	安嶋 彌 殿	12月 9日	元修養団理事長、元文化庁長官
福岡県	平島 憬子 殿	12月16日	元修養団福岡県連合会婦人部長
埼玉県	大塚 学 殿	3月 6日	修養団嘱託職員(元社会活動部担当部長)

(2) 物故同志慰霊の集い

7月14(金)、SYDビル会員ルームにおいて、物故された恩人・先輩・永生会員・同志の慰霊祭を山崎主幹はじめ本部役職員により執り行った。

7. その他

7月 6日 上期慰労手当支給
12月 5日 下期慰労手当支給
2月13日 「松江豊寿記念碑建設への寄附金」を山都愛汗の会の佐藤会長他2名が事務局に持参した(松江豊寿は若松市長在任中に修養団運動を市政に反映させ、若松市支部長、会津連合会長として尽力した)。

平成29年度事業報告には「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

平成30年3月

公益財団法人 修 養 団

後援会活動報告

平成29年度後援会活動は、6月19日の後援会役員会において決定された事業計画に基づき、募金目標額は12,000,000円の達成をめざして6月中旬より活動を開始した。

三菱グループ、三井グループ、住友グループ、宇部興産、フジタ、キッコーマン、北越紀州製紙、東芝等々法人会員98社、個人会員158名の方々の深いご理解と温かいご支援により、10,884,500円の会費収入を得る事ができた。

なお、会費収入のうち経費を除いた金額10,581,980円を後援会の助成対象事業である「青少年の健全育成」「家庭教育の推進」「社会教育指導者の育成」の3事業支援のために修養団へ繰り入れた。

1. 会員移動状況

(敬称略)

(1) 新入会員〈個人会員 9名〉

(福島県) 佐原 元 (茨城県) 大平 順一 (東京都) 佐藤健一郎
(長野県) 森 文秀 (愛知県) 山本 優子 (大阪府) 金岡 重雄、堂元喜恵子、義持 睦子 (福岡県) 大下 英勝

(2) 逝去会員〈個人会員3名〉

(大阪府) 伊與田 覚 (福岡県) 森 洋、平島 憬子

(3) 退会会員〈法人会員 2社、個人会員2名〉

(東京都) 長島梱包(株)、遠藤よし子 (大阪府) カナオカ機材(株)
(愛媛県) 道下盛多

2. 募金活動

(1) 募金目標・募金実績 (単位・円)

〈募金目標〉	〈募金実績〉
法人会費 10,000,000円	法人会費 9,160,000円
個人会費 2,000,000円	個人会費 1,724,500円
合 計 12,000,000円	合 計 10,884,500円

(2) 募金方法

ア. 文書活動

6月19日の後援会役員会で承諾された事業計画にもとづき、6月中旬より募金活動を開始。平成29年度会費納入のお願い書を法人、個人会員宛発送した。

イ. 訪問活動

6月下旬より関東地区法人会員各社を訪問し、平素のご支援の御礼と引き続きご協力をお願いをした。

3. 広報活動

(1) 修養団機関誌『向上』6月号に平成28年度の後援会会員名簿を掲載、協力の御礼と感謝の意を表すると共に平成29年度のお願いをした。

(2) 『向上』(平成29年度5月号より1年間)及び平成30年度版「日々の力」を法人、個人各会員に贈呈した。

4. 会 議

(1) 役員会

期 日 6月19日(月) 11時～13時

会 場 SYD会議室

出席者 常任幹事 伊与部恒雄、板垣和彦、山口洋二

監 事 芳賀 律 (新海一正監事代理)

修 養 団 御手洗康、山崎一紀、久世郁夫、根岸秋吉、岩佐加寿子

議 事

ア. 平成28年度後援会事業報告並びに収支報告及び監査報告について

イ. 平成29年度後援会事業計画案及び収支予算案について

ウ. 平成28年度修養団主要事業報告並びに

平成29年度修養団主要事業計画について

エ. その他

5. 収支報告 (4月1日～平成30年3月31日まで)

(単位：円)

貸 方 (支出)	科 目	借 方 (収入)	前年度 (収入)
	会費収入 (法人)	9,160,000 (98 社)	9,200,000 (99 社)
	〃 (個人)	1,724,500 (158 名)	1,770,000 (169 名)
	そ の 他 の 収 入		
10,581,980	修 養 団 後 援 金		
10,203	旅 費		
8,640	印 刷 費		
94,021	通 信 運 搬 費		
146,700	消 耗 品 費		
27,216	会 議 費		
15,740	雑 費		
10,884,500	合 計	10,884,500	10,970,000